

①自閉症スペクトラム障害

②注意欠陥多動性障害（混合型）

③読字障害（発達性ディスレクシア）

解説：第3回診断 第2回（小学1年生3学期）にディスレクシア診断がついているが
4～5年生での課題を明らかにする目的で、小学校3～4年生で再診断する。

認知・行動特徴まとめ

①自閉症スペクトラム障害

社会的コミュニケーション対人的相互反応

1a) (あり) 相互の対人的-情緒的関係の欠落

1b) (あり) 対人的相互反応で非言語的コミュニケーション行動を用いることの欠陥

1c) (あり) 人間関係を発展させ、維持し、それを理解することの欠陥

行動、興味、活動の限定された反復的な様式

2a) (なし) 常同的または反復的な身体運動、物の使用、または会話

2b) (あり) 同一性の固執、習慣への頑ななこだわり、言語的・非言語的な儀式的行動様式

2c) (なし) 強度または対象において異常なほどきわめて限定され執着する興味

2d) (あり) 感覚刺激に対する過敏さ又は鈍感さ、又は環境の感覚的側面に対する並外れた興味

②注意欠陥多動性障害（投薬：有） 保護者担任評価点 コンサータ有効。増量効果あり（2020.8）

a) 不注意（あり） 保護者26点、担任21点 b) 多動・衝動性（あり） 保護者14点、担任3点

③読み書き関連

STRAW 音読：ひらがな一文字（-5.0SD）、ひらがな単語（-5.0SD） 速読：単語（1.6SD）、非語（3.9SD）

稲垣式音読検査 流暢性：単文（3.4SD） 正確性：単文（2.5SD）

④精神発達・知的水準 WISC-IV 生活年齢：10歳10ヶ月 FSIQ=88 VCI=93 PRI=91 WMI=88 PSI=88

【経過】

◆第1回診断（2015.1 5歳時）：〈主訴〉集団生活で行動が遅れる、一斉指示が伝わらない〈診断〉ASD、ADHD

◆第2回診断（2016.9 7歳時）：〈診断〉ASD、ADHD、ディスレクシアと診断

◆コミュニケーション：視線は合いづらい。何度が呼びかけないと呼名反応なし。妹の名前を呼んでも反応することがある。順序立てて話すこと、相手にわかりやすく話すことが苦手で周りの大人や友達がフォローしないと話が伝わらない。相手の質問に対して話を膨らませることは苦手で、論点がずれてることが多い。冗談は理解できないときがある。一斉指示の理解はできず、個別に声をかけてもらっている。困っている時や嫌なことがあると、なかなか言い出すことができず、我慢できなくなって母親に相談する。◆集団適応力：自分からトラブルになるようなことはしないが、ターゲットにされやすいタイプ。声の掛け方がわからず、自分から友だちの輪に入る事ができない。休み時間は一人で過ごす事が多いが、放課後はゲームをして友達と遊んでいる。近所に仲良い子はいるが、同年齢・同性の友達が少ない。◆共感性：本人には悪気がなくても相手が傷つく言動をすることがあるが、教えてあげれば行動を改める事ができる。◆こだわり：急な予定変更には泣き崩れたり暴れたりする。◆感覚：臭いに敏感。痛みには鈍感で物にぶつかっても気づかない。温度調整が苦手。物との距離感がつかめない。◆学習：文章は勝手読みがある。漢字の旁と偏を反対に書いたり、横線・点が多かったりする。◆不注意・多動性・衝動性：気が散りやすい。基本的にぼーっとしていてテストの時間が足りなかったり周りの状況が見えていなかったりする。忘れ物、失し物が非常に多い。物事の優先順位、順序立てが苦手。座っているときに体を揺らしたり足を動かしたり、立っている時も体をふらふら動かしている。思いつくとすぐに行動に移してしまう。

【園・学校の様子より】

◆気がかりなこと：一つ一つの取り組みにとっても時間がかかる。テストはほぼ指定時間内に終わることができない。（きつと声をかけなければずっと終わらないと思う）◆行動特徴：よく人の話を聞いていない。上の空になっている。◆言語理解：話し言葉は丁寧である。友人と教員に対して同じ口調、友人に対してでも丁寧な言葉遣いをする。◆読み書き：文字の大きさは大きく、きれいな字ではない。◆計算等：計算ミスは多い。

療育・治療方針

自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害（混合型）・読字障害（発達性ディスレクシア）を併存した生徒としての支援が必要である。

①全体として特別支援教育の対象児童である。②ADHDにはコンサータを継続する。③ディスレクシアについてはこれまでの読み書きの指導に限界があることが明らかであるので、ICTの活用を中心とする合理的な配慮が必要である。

2025/01/01

平谷こども発達クリニック

担当医 平谷 美智夫

行動特徴・認知機能まとめおよび診断と治療方針

氏名 デイジー太郎 氏名カナ デイジータロ イニシャル
カルテ番号 00001 生年月日 09. 1. 1 初診日 15.1.1

主訴・初診までの経過・成育歴・身体所見
＜主訴＞

再診断
201〇.1 ASD、ADHD
201〇+2.9 ASD、ADHD、ディスレクシアと診断

＜経過＞

1歳半健診。3歳児健診で指摘なし。
治療相談歴：昨年度まで□□で少年野球に参加。現在、小学5年生、通常学級在籍。
言語発達歴：意味語12ヶ月、二語文2歳ごろ。現在、周りの子と比べて遅れは感じない。
コミュニケーション：視線の合いづらさを感じる。相手がどこをみているのかは理解することができる。何度か呼びかけないと呼名反応なし。妹の名前を呼んでも反応することがある。相手の状況をみて話しかけることができる。興味のない話をされると「今はちょっとそれはいいよ」と言う。自分にとって不都合なときは嫌がる。順序立てて話すのが苦手で相手にわかりやすく話すことが苦手。単語を羅列して話すことが多い。身振り手振りで頑張っているが、周りの大人や友達がフォローしないと話が伝わらない。相手の質問や要求の理解はある程度理解でき、行動や簡単な回答はできる。しかし、話を膨らませることは苦手で、論点がずれてることが多い。冗談はりかいできないときがある。一斉指示の理解はできず、個別に声をかけてもらっている。困っている時や嫌なことがあると、なかなか言い出すことができず、我慢できなくなって母親に相談する。
集団適応力：学校には友だちと話すことを楽しみにいていた。自分からトラブルになるようなことはしないが、ターゲットにされやすいタイプ。声の掛け方がわからず、自分から友だちの輪に入る事ができない。休み時間は一人で過ごす事が多いが、放課後はゲームをして友達と遊んでいる。近所に仲良い子はいるが、同年齢・同性の友達が少ない。
共感性：相手の表情の読み取りはできる。家族や仲の良い友だちが泣いていたり困っていたりすると「何で泣いてるの?」「どうしたの?」など声をかけたり、なぐさめてくれる。家庭では、本人の表情は豊かであるが、学校では服薬もあり表情は硬い。本人には悪気がなくても相手が傷つく言動をすることがあるが、教えてあげれば行動を改める事ができる。
こだわり：ルールにかなり忠実だったが、現在は柔軟に対応することができるようになってきた。急な予定変更には泣き崩れたり暴れたりする（特に興味があった活動ではひどくなる）。
感覚：臭いに敏感。痛みには鈍感で物にぶつかっても気づかない。温度調整が苦手。物との距離感がつかめない。
反復運動：問題なし。
粗大運動：以前は得意な方だったが、体型の変化もあり他の子と比べると劣っていると感じる。
微細運動：不器用。リコーダーの穴をうまくふさげない。図工は2学年ほど遅れているような作品である。結びびやボタン留めには時間がかかる。箸も苦手で、ぼろぼろこぼす。はさみもがたがたにしか切れない。折り紙も何度もやり直すため、ぼろぼろの物が完成する。分度器やコンパスが上手に使用しない。
学習：【読み】文章は勝手読みがある。【書き】漢字の旁と偏を反対に書いたり、横線・点が多かったりする。【計算】得意な方。【数学的推論】得意な方。【現在受けている配慮・指導等】学校にお願いしているが、支援・配慮してもらえていない。
得意分野：絵画で入賞。低学年の頃百人一首で入賞。

性別 男 年齢 10歳
記載日:25.4.1 所属 ○小学校 担任 ○〇 先生
＜園・学校の様子＞

- ◆気がかりなこと：一つ一つの取り組みにとっても時間がかかる。テストはほぼ指定時間内に終わることができない。（きつと声をかけなければずっと終わらないと思う）
- ◆行動特徴：よく人の話を聞いていない。上の空になっている。とても優しく温厚。
- ◆言語理解：話し言葉は丁寧である。友人と教員に対して同じ口調、友人に対しても丁寧な言葉遣いをする。
- ◆読み書き：読むことは問題ない。文字の大きさは大きく、きれいな字ではない。
- ◆計算等：計算ミスは多い。
- ◆これまでの対応：席の場所を配慮した。（教卓から一番近い所）

～～経過の続き～～
生活面：【睡眠】22:00頃就寝、6:00頃起床。寝つき、寝起きはよい方。【排泄】自立。排泄後、拭きたりずパンツが汚れていることがある。【食事】好きな物は飽きるまで食べる。【着脱】洋服の前後、裏表を間違える。不注意・多動性・衝動性：気が散りやすい。基本的にぼーっとしていてテストの時間が足りなかったり周りの状況が見えていなかったりする。忘れ物、失し物が非常に多い。物事の優先順位、順序立てが苦手。食事のさいも自分の分が把握できないことがある。座っているときに体を揺らしたり足を動かしたり、立っている時も体をふらふら動かしている。思いつくとすぐに行動に移してしまう。

＜PARS＞（親面接式自閉スペクトラム症評定尺度）

就学前	小学生以上
幼児期現在評定:	現在評定: 8
幼児期ピーク評定:	幼児期ピーク評定: 14

ADHD(注意欠如・多動性障害)関連症状

不注意	
保護者 担任	26 21
総合評価	
多動性・衝動性	
保護者 担任	14 3
総合評価	

知能検査:

田中ビネー 実施日	CA=	IQ=	基底年齢=
WISC-IV	CA= 10:10	FSIQ= 90	実施日 2025/07/04
	VCI= 93	PRI= 91	WMI= 88 PSI= 88

利き手

＜その他＞

＜自閉スペクトラム症関連症状＞DSM-5

社会的コミュニケーション-対人的相互反応 a,(b),(c)

00001 デイジー太郎

1a)相互の対人的-情緒的関係の欠落

・語彙は増えてきているが、順序立てたり、要点をまとめたりして話すことが苦手でまどろっこしい。 ・場の流れに関係ない話を唐突にしだすことがある。 ・話題もとびやすい。 ・困っている時や嫌なことがあってもなかなか言い出すことができず、母が様子の変化に気付いて何度も水を向けると話し始める。 ・日常会話での理解力に問題はない。				
MC4	MC9	MC17	P3	P8
MC6	MC14	MC19	P5	P38
MC7	MC15	MC20	P7	P45

1c)人間関係を発展させ、維持し、それを理解することの欠陥

・行事など集団行動は周りに合わせて行動できる ・他者から声をかけてもらおうと輪に入ったり仲良く接したりできる。 ・家族内では母をねぎらったり、妹に気を遣ったりすることができる。			
MC2	P2	P36	P41
MC5	P9	P37	P44
MC13	P35	P39	

1b)対人的相互反応で非言語的コミュニケーション行動を用いることの欠陥

MC6	MC12	P1
MC7	MC23	P5
MC10		P44

(注)
MC:M-CHAT...P.7参照
P:PARS...P.8参照

行動、興味、活動の限定された反復的な様式 (a),b,(d)

2a)常同的または反復的な身体の運動、物の使用、または会話

・幼少期から変わらず自分の世界に入ると手をくねくね回していることがある	
MC8	P10
MC18	P11
MC22	

2b)同一性への固執、習慣への頑ななこだわり、言語的・非言語的な儀式的行動様式

・急な予定変更時には泣いて嫌がる。 ・土日など自分がのんびりしたい時間に急な予定が入ると特に顕著で、何かにしがみついて外出を嫌がることもある。	
P10	
P11	

2c)強度または対象において異常なほどきわめて限定され執着する興味

P46	

2d)感覚刺激に対する過敏さ又は鈍感さ、又は環境の感覚的側面に対する並外れた興味

極度のこわがりで、一人で2階に行ったりトイレに入ったりできない(家では、ドアを全開にして妹をそばに待たせている。学校では大便はせず、小便は皆が休み時間にトイレに行くタイミングに合わせて行く)。夜暗い時の音に過敏に反応する。	
MC11	P.4